

## 令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ふれあい温泉川内、むつ市湯野川温泉濃々園 むつ市野平高原交流センター、むつ市まちの駅かわうち	
指定管理者	団体名	むつ市川内町商工会
	代表者	会長 半田 義秋
	所在地	むつ市川内町川内 1 1 5 - 9
指定期間	平成29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	関係法令等を遵守し、利用者が快適に施設利用出来るよう、施設の設備及び備品等の維持管理を適正に行う。市民や利用者の意見、要望等を考慮し、平等に利用出来るようにする。	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	30,381	29,578	△803
うち利用料金額	17,422	16,619	△803
うち指定管理料	12,959	12,959	0
支 出 合 計 (B)	30,220	30,301	81
うち人件費	11,260	11,577	317
収支差 (A-B)	161	△723	△562
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	ふれあい温泉施設の湧水による休業並びに動力ポンプ・パイプ・浴槽タイルの修繕と休業及び75歳以上の増加傾向に伴う入浴料収入減が要因である。		

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	ふれあい温泉川内	24,000	20,367	△3,633
	湯野川温泉濃々園	16,000	16,380	380
	野平高原交流センター	22,000	21,002	△998
	まちの駅かわうち	18,250	18,250	0
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（無） ・施設の老朽化が指摘されている。（雨漏り、汚れ、寒い、タバコの煙など） ※出来る範囲の修繕、清掃、喫煙場所の設置を指示、実施している。 ・職員の接客マナーが良くない。 ※職員に注意し、専門講師による接客指導を実施した。 （・＝利用者の声、※＝対応状況）				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
オリジナルグッズ商品開発販売事業	730	187,630	93,815
ご当地メニュー開発販売事業	661	594,900	297,450

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

むつ市から、指定管理制度を受託して、ふれあい温泉川内・湯野川温泉濃々園・野平高原交流センター・まちの駅かわうちの4施設の運営管理をし、地域住民に保養休養の場を提供し、健康増進施設、交流施設、地場産品販売施設として利用者に対するサービスの効果効率を向上させ、もって地域の福祉及び川内地区の観光振興に努めた。

○総括的概要

道の駅かわうち湖の来訪者増加を図る為SNSでの情報発信や、道の駅限定切符の販売や人気メニューダムカレーの販売促進を行い来訪者数と売上の増進を図った。

また、ふれあい温泉・濃々園については、清潔な施設を心がけ利用者の満足度を高め来訪者の増加による売上収益の改善を図ったが、施設の老朽化等により湯水によるパイプ洗浄や動力ポンプ、浴槽タイル修繕の休業並びに75歳以上の利用者が毎年増加傾向となることから、売上減収となり、施設運営が厳しかった。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

温泉施設、まちの駅かわうちは市民の憩いの場として、道の駅かわうち湖は観光施設として、管理、運営をしていただいた。施設の老朽化が進み、思った運営が出来なかったかもしれないが、利用者からは好評だったと考える。指定管理者制度による管理は終了となるが、引き続き川内地区の観光振興に努めていただきたい。